

会議の概要(議事録)

会議の名称	(番号) 3-08	平成24年度第12回すみだ環境共創区民会議		
開催日時	平成25年3月21日(木) 18時35分から19時35分まで			
開催場所	墨田区役所2階 21会議室			
出席者数	<p>【委員15人】</p> <p>阿久沢委員 伊藤委員 宇田川副会長 久保田委員 小池委員 小木曾会長 島崎委員 清水委員 高橋委員 中島委員 永岡委員 野島委員 森下副会長 柳委員 吉田委員</p> <p>【事務局4人】 環境担当部長、環境保全課長、環境管理担当主査及び職員</p>			
会議の公開 (傍聴)	公開(傍聴できる)	傍聴者数	0名	
議 題	<p>1 すみだ環境共創区民会議平成23・24年度活動報告書の作成について</p> <p>2 平成25年度活動方針について</p>			
配付資料	<p>1 すみだ環境共創区民会議平成23・24年度活動報告書(案)</p> <p>2 墨田区の微小粒子状物質(PM2.5)に関する現状と今後の対応について</p>			
会議概要	<p>1. すみだ環境共創区民会議平成23・24年度活動報告書の作成 事務局から、平成23・24年度活動報告書(案)について説明があった後、資料(案)のとおり承認された。</p> <p>2. 平成25年度 活動方針について 事務局から、平成25年度の区民会議としての活動方針の取りまとめについて、説明し意見交換を行った。</p> <p>【主な意見等】</p> <p>来期は2年間の大きなテーマを決めて行ってはどうかと思う。 すみだ環境共創区民会議は、墨田区の環境についての現状・活動を発表する最先端の場所であり、広く区民にPRする目的を持っている。原子力発電の問題、黄砂、PM2.5など関心の高い話題を取上げることが、PR効果を高めると思う。 まず、スケジュールを決めることが良いのではないか。環境フェア、すみだまつり、打ち水等、それをどのように展開していくか考えることだと思う。大きなテーマについては、新しい委員を含めて決めた方が良い。 大きなテーマは、すみだ環境の共創プラン<改訂版>の周知の取組みではないかと思う。例えば2年間を「緑化」や「温暖化」というテーマに絞ると、他のフィールドで活躍されている委員の方にとっては難しいのではないかと思う。テーマに制約をかけることは避けたほうが良い。すみだ環境共創プラン<改訂版>を区民に根付か</p>			

せるために何をしたら良いかを考えるべきだと思う。

基本方針はすみだ環境の共創プラン<改訂版>に掲げられているので、委員の皆さんにも理解していただいていると思う。2年間の目的、着地点等掲げられたら、新しい委員の方もスムーズに入ってもらえると思う。

2年間のスケジュールを決めることが大事だと思う。すみだ環境の共創区民会議の役割を共有して、実践を伴うような計画を立てることだと思う。

テーマと目標は少し違いがある。区民会議として出来るもの、重要なものから、一つ一つ行っていくことでも良いのではないかなと思う。テーマや目標掲げた後に、見直しを行ってもよいのではないかな。他区との比較を行ったことはなかったが、それも必要ではないかなと思う。

すみだ環境共創区民会議の役割はとても難しいと感じている。この2年間はとても短く感じた。区民会議の役割や目的をもっと区民の方に啓発・PRしてもらいたい。

プランには5つの基本目標がある。そこで、区民会議で5グループに分かれて、その目標に向って何が出来るか話し合いを行い、その結果を全体会に報告し、意見交換をした方がやりがいも感じられる。前にグループ討議を行ったが、緑化についてのテーマに偏っていた。「環境」は範囲が広いので、区民会議は、委員がそれぞれの立場で話し合いが出来なければ、すみだ環境の共創プラン<改訂版>の目標の達成は出来ない。

環境保全課の職員の中にも、区民会議で何を行っているのか知らない人がいたことがショックだった。何ヶ月に一度、グループ討議を行い、発表することも良いのではないかな。

委員の方がどういう思いを持って区民会議へ参加しているのか、話し合いの時間を作ってはどうか。イベント等の参加を含めスケジュールを立てることも重要だと思う。最後に委員個人の活動報告書を作成するのではなく、区民会議としての提言をまとめられたら、区民会議の存在感も大きくなると思う。

テーマを絞らないと「環境」の範囲が広すぎる。しかし、テーマを絞りすぎると話したいことを話せなくなることもあり、難しいと思う。出来る範囲で、他区で行っている活動の比較も必要ではないかなと思う。

2年間、区民会議に参加してきたが、区民会議がどういうものなのか良く分らなかった。委員だけで活動しても意味がない。委員がイベントの数合わせに参加するのではなく、イベントを提案することに意味がある。この2年間は、プランの改定とすみだまつりに出展したことが、成果として感じられた。

区民会議に参加するにあたって、役割を全員が共有化することが一番重要なことだと思う。区民会議は黒子の存在。ステージで演じるのは区民。その区民をいかに盛りたてていくか、どういうことをしたら良いか考えていくのが区民会議の役割だと思う。その事を念頭に置いてこの会議に臨んでいかなければいけない。自分達が参加するのは手段であって、目的ではないことをしっかり見極めていかなければいけない。墨田区の現状を把握して、墨田区の課題は何なのか、どうしていけば良いのか考えていくことがスタートとなる。環境の分野はごみの問題、資源の問題、緑

化の問題等、とても範囲が広いので、どのように区民の方に啓発していくのか考えていかなければいけない。すみだ環境の共創プラン<改訂版>は啓発、PRのためのバイブルとなるので、そのプランを学んだうえで、区民のために考えていかなければいけない。委員の方はそれぞれ問題意識を持って区民会議に参加されているので、基本的に会議は楽しくやっていかなければいけない。お互いに意見をぶつけあう事は大事ではあるが、何を達成していくのか、夢やビジョンを持っていくことも必要なことだと思う。

4年間委員をやって、ようやく区の環境政策が分かって来た感じがする。限られた2年間で何をしなければいけないのか、難しい問題だと思う。区民会議としては、会議で勉強したことを区民の方へ伝えていかなければいけない。例えば、1年目は勉強に費やして、2年目は自分で課題を見つけ、その解決策に対して皆で話し合う等の方法があると思う。課題を見つけるだけでなく、その解決策を話し合っていかなければいけない。今後、実践を伴う方法を考えていきたいと思う。

考えは皆同じではないかと思う。先程、委員が言われたことが、皆のまとめではないかと思う。ただ、啓発、PRを行っていくうえで、スケジュールは必要ではないかと思う。昨年初めて出展したすみだまつりや、環境フェアには、次年度、出展してもらいたい。また、夏に森林体験を実施してもらいたいという希望を個人的にさせてもらっている。人口増加等、墨田区は激変している。環境問題、ごみ問題等、来期のメンバーで考えていただければと、事務局をお願いしておきます。

先程、グループ討議について、委員や委員から話がありました。以前、私が提案したときは何の検討もされなかった。来期はその事を考慮していただければと思います。

今日は、大変貴重な意見が出されたが、それをすべて行うことは難しいと思う。グループで行うべきことをこの会議に持ち込んでしまうと、会議はパンクしてしまう。区民会議の役割を逸脱してしまうと、スケジュールは難しくなる。2年間は長いようでそうでもない。豊島区や江東区の区民会議に参加したが、墨田区は墨田区の特徴を活かしてやってもらいたい。

有意義で貴重な意見をいただきましたので、そのまま事務局に引き継ぎたいと思います。

3. その他、情報提供等

- (1) 墨田区の微小粒子状物質(PM2.5)に関する現状と今後の対応について事務局から、墨田区の微笑粒子状物質(PM2.5)に関する現状と今後の対応について、説明した。

【主な意見等】

墨田区は現在安全なのか。

今の数値は環境基準を超えていない。東京都の発表でも大丈夫だと思う。

3.11以前から、自然界には放射能は存在している。レントゲンを受けても放射能を浴びている。余りにも神経質に成り過ぎている。そのことが、東北地方の

	<p>農家の方を苦しめることになっている。</p> <p>放射能の測定は、都道府県単位に行っていた。3.11以降は、よりきめ細かな測定を行うようになった。正確な情報を発信することが大切であり、区の責務と考えている。</p> <p>3.11以降、環境基準を緩めたため、不安を感じている。</p> <p>(2) 東京スカイツリータウン展示(すみだ環境ふれあい館)</p> <p>(3) グレートジャーニー人類の旅[特別展]</p> <p>(4) 古着の回収の実施報告(すみだ環境ふれあい館)</p> <p>回収はふれあい館を含め全4箇所を実施(2,348件・回収量は集計中)</p> <p>ふれあい館:3月16日(土)2t車で半分弱程度を回収</p> <p>(5) 環境保全課主査から、今期で退任される9名の委員の紹介があった。</p>
所 管 課	区民活動推進部 環境担当 環境保全課 環境管理担当 内線 5463